



# 日耳鼻医学会FAXニュース

## NO 105

平成17年9月2日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimujenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp  
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

### 第30回臨床家記念フォーラム 「東京フォーラム2005」盛会理に終了 会員・家族・職員など450名余参加

8月27日(土)・28日(日)の2日間にわたり、東京日本橋蛸殻町のロイヤルパークホテルで450余名の参加のもと、東京都耳鼻咽喉科医学会担当で上記会が開かれた。初日は分科会の後、江戸情緒溢れる木遣りやバンド演奏が披露された賑やかまた和やかな懇親会が開かれた。2日目は、第30回を記念しての記念式典が行われた。東京都耳鼻咽喉科医学会会長、日耳鼻医学会理事長挨拶の後、来賓の方々より祝辞を頂いた。来賓の方々には以下の通り。

- 日本医師会副会長 宮崎秀樹先生
- 東京都医師会会長 唐澤祥人先生
- 参議院議員 武見敬三先生
- 日耳学会東京都地方部会長 石井哲夫先生
- 日耳学会東京都地方部副会長 竹腰昌明先生
- 東京都各科医学会会長 長久保一朗先生

続いて、フォーラムを始め日耳鼻医学会に対するの功労者への表彰が行われた。204名の表彰者を代表して、東北ブロックの袴田 勝先生、関東ブロックの矢崎定造先生、九州ブロックの定永正明先生へ、理事長より表彰状・感謝状が授与され、袴田 勝先生が代表して謝辞を述べた。

引き続き、横浜市立大学・ニュージャージー州立大学の石川義弘先生の「実地医家は米国型医療制度改革をどのように乗り切るのか」と食文化研究家の永山久夫先生の「元気で長生きするための100歳食入門」の記念講演があった。

石川先生の講演では、アメリカ型医療制度の下では「医療は商品であり、営利追求の手段である」と良い面もあるが、モラルハザードを起こして、結果的に患者が不利益を受けるのではないかと説いた。

永山先生の講演では、長寿村を訪ねてみると、皆良くお茶を飲んでいるとの事で、「お茶飲んで、ご飯、豆、胡麻に鯛に、人参、昆布、これで長生き ヲッハッハ」と食生活の大切さを説いた。

最後に愛媛県耳鼻咽喉科医学会の鈴木 徹先生より来年のフォーラムの案内があり、是非道後温泉において頂きたいとの挨拶があった。期日は8月26・27日の予定。

### 日本耳鼻咽喉科医学会年表完成

元日耳鼻連常任理事・野中康弘先生(東京)作成・日耳鼻医学会広報委員会監修の年表が完成、フォーラム参加者に配られた。年表ご希望の方は事務局まで連絡下さい。1部200円(送料込み)

### 医学会協議会は11月27日に開催予定

8月28日移動理事会で決定  
フォーラム2日目の全体集会前の移動理事会で、今後の会議日程について協議し以下のように予定された。

- \* 9月25日 第3回全理事会 (事務局)
- \* 11月27日 平成17年度第1回医学会協議会並びに第4回全理事会 (事務局)
- \* 18年1月22日 第5回全理事会 (事務局)
- \* 18年3月19日 第6回全理事会 (事務局)
- \* 18年5月21日 平成18年度第1回全理事会(事務局)
- \* 18年6月25日 定時都道府県代議員会および総会 (東京・大丸ルビーホール)

医学会協議会の議題には「18年4月の点数改定での耳鼻科の包括化は不明だが、あった場合耳鼻科病院及び診療所の対応はどうしたら良いか」が検討される予定。

### 負担増の改革なら国民反対運動も植松日医学会長

日医の植松会長は8月28日、津市で開かれた三重県医師会主催の医学会総会で講演し、今秋から本格化する医療制度改革論議について、「今が一番大事な時。決して国民負担増の流れを作ってはいけない」と述べ、衆院選挙の結果や論議の行方次第では、昨年の混合診療反対運動同様、年末に全国各地で国民運動を展開する方針であることを明らかにした。

### 本人・家族の確認ミスが増加

社会保険診療報酬支払基金は29日、被保険者資格のない患者の受診や保険証の記号・番号の転記ミスなど、資格関係の確認ミスのあったレセプトが2004年度中に前年度比約2.4%増の611万件発生したと発表した。「資格喪失後の受診」は253万件。ミスの理由の上位を占める「資格喪失後の受診」や「記号・番号の誤り」がいずれも減少傾向にある一方、「本人・家族の誤り」が増加傾向にあり、全体を押し上げた。

### 経営主体別診療科別診療諸率 05年4月分 【医科入院外 抜粋】

	1件当点数	1件当日数	1日当点数
総合計	1,011	1.7	609
診療所計	892	1.7	523
内科診療所	1,028	1.6	630
小児科診療所	866	1.8	491
眼科診療所	674	1.2	561
耳鼻科診療所	675	1.9	366
耳鼻科本人	654	1.7	395
耳鼻科家族3才以上	647	1.8	350
耳鼻科家族3才未満	963	2.7	358
老人保健8割	835	2.5	338
老人保健9割	877	2.6	334

プロスタグランジンD<sub>2</sub>-トロンボキサンA<sub>2</sub>受容体拮抗剤  
**アレルギー性鼻炎治療剤**

## パィナス錠

※50mg ※75mg Bilynsol<sup>®</sup> (プロピピロリド) 塩酸塩

副作用: 頭痛、肩痛、嘔吐、便秘、胃腸に異常を認めた患者、異常を認めない患者に於いては、脳出血や脳梗塞を認めた患者あり。

※本剤の小児病に對する安全性は確認していません。(使用経験が少なすぎ)

バイエルヘルスケア株式会社  
Bayer HealthCare  
(2005年9月現在)

フォーラム特集号原稿募集のお願い  
東京フォーラムに参加頂いた方々の「フォーラム印象記」の原稿を募集します。枚数に制限はありません。日耳鼻医学会事務局まで郵送またはメールでお送り下さい。  
締め切り9月末日